

第5回CKD（慢性腎臓病）県民公開講座

「腎臓 - 影の支配者 -」のテーマで講演会開催！！

平成30年3月21日（水・祝）13:30~15:30 岡山県医師会館



慢性腎臓病、別名CKD (Chronic Kidney Disease) は国内の患者数が約1330万人と言われ、成人の8人に1人が該当する新たな国民病であり、高血圧や糖尿病等の生活習慣病やメタボリックシンドロームとの関連も深く、誰もがかかる可能性のある病気です。



(写真上) 午前中はCKD啓発イベントを実施。
岡山駅南地下道ももたろう観光センター前

宮崎 雅史先生 (岡山県医師会 理事)

【講演会】 13:30~14:50

講演会司会：岡山大学学長 榎野 博史先生
開会挨拶：岡山県医師会会長 石川 紘先生
岡山大学学長 榎野 博史先生
岡山県保健福祉部健康推進課長 山野井 尚美氏

- [1] 「腎臓、影の支配者」
川崎医科大学主任教授 柏原 直樹先生
- [2] 「CKD患者Jさんの日常」
岡山大学病院 看護師 池田 美世氏
- [3] 「腎臓病患者として、ピア相談員として思うこと」
全国腎臓病協議会理事、岡山県腎臓病協議会理事・事務局長 宮本 陽子
- [4] 「もち麦の健康効果について」
美作市保健福祉部健康づくり推進課 谷口 啓子氏



榎野 博史先生 (岡山大学 学長)



柏原 直樹先生 (川崎医科大学 主任教授)
岡山県は、全国のなかでも腎臓病診療に関しては、ほぼトップレベルです。専門医の数は、中四国地区では一番多い。いろいろな意味で国内最高レベルにある。



宮本 陽子 (岡山県腎臓病協議会 理事)
自覚症状が無いから、自分勝手に「悪くなるはずがない」と思わないでほしい。
1. 病気と向き合う。専門医を受診する。
2. 管理栄養士の食事指導を受ける。
3. 間違った情報（新聞広告・ネット等）に惑わされない。
4. 糖尿病の人は、クレアチニン等、腎機能に関する数値を意識し、主治医に相談をする。



山野井 尚美氏 (岡山県健康福祉部健康推進課 課長)
来年度は、県民の皆さま自身が健康を考える日、家族地域の展望が考えられる仕組みを進めていきたい。



池田 美世氏 (岡山大学病院 看護師)
岡山大学では、腎臓病の方の生活をサポートするチーム、腎臓内科の医師、看護師・薬剤師、移植コーディネーター、栄養士、臨床工学技士、ソーシャルワーカー等でチームを作り患者さんの腎臓病生活を支えている



谷口 啓子氏 (美作市保険福祉部健康づくり推進課)
「もち麦」の健康効果について、美作市の取組みを報告。食後血糖値の上昇抑制、コレステロール正常化、高血圧の予防等、の事例を紹介。



福島 正樹先生 (重井医学研究所附属病院 院長)

杉山 斉先生 (岡山大学 教授)



Q&Aコーナー 15:00~15:25

進行役：福島 正樹先生 (重井医学研究所附属病院 院長)

杉山 斉先生 (岡山大学血液浄化療法 教授)

コメンテーター

太田 康介先生 (岡山医療センター)

宮本 陽子 (岡山県腎臓病協議会)

池田 美世氏 (岡山大学病院)

谷口 啓子氏 (美作市)

開会の挨拶：宮崎 雅史先生 (岡山県医師会 理事)



Q&Aコーナー
25分間と限られていましたが、個々の質問に対し、それぞれ専門の分野での回答が得られました。